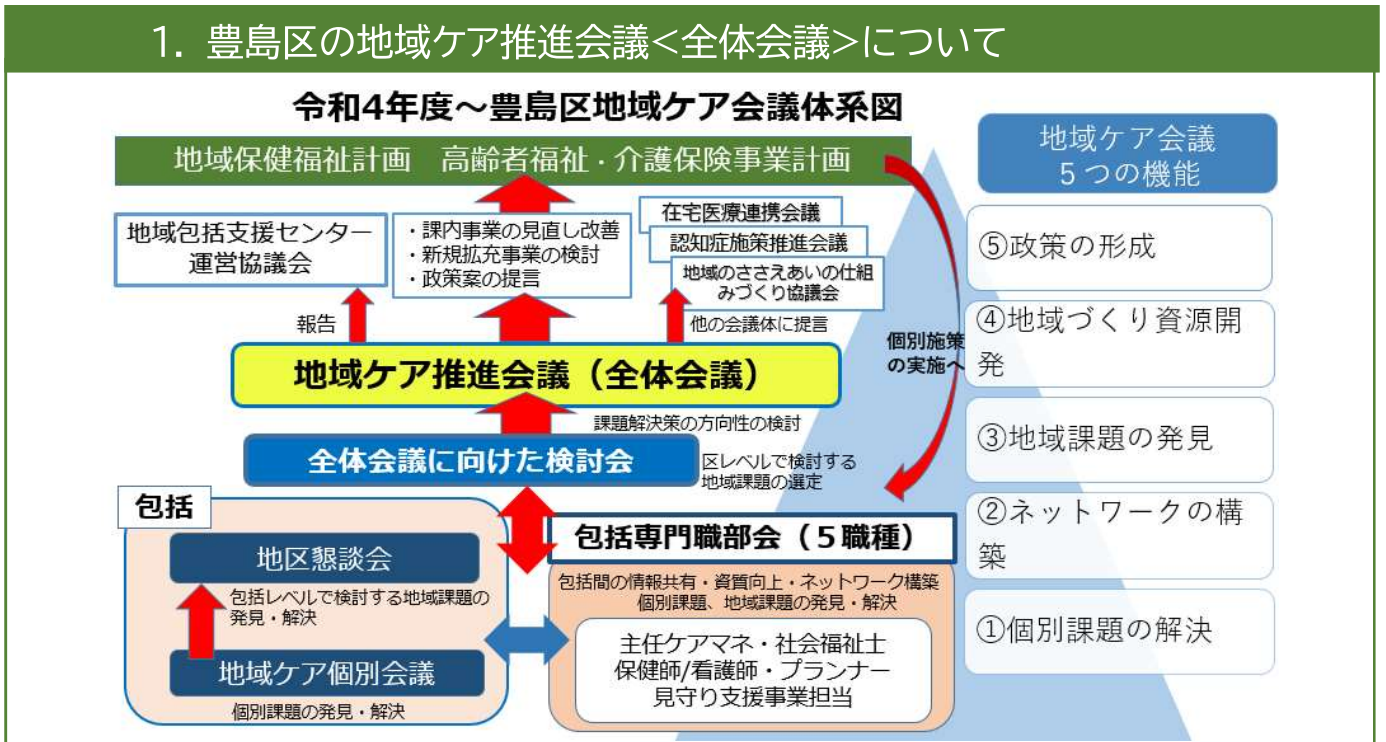


1. 豊島区地域ケア推進会議<全体会議>について

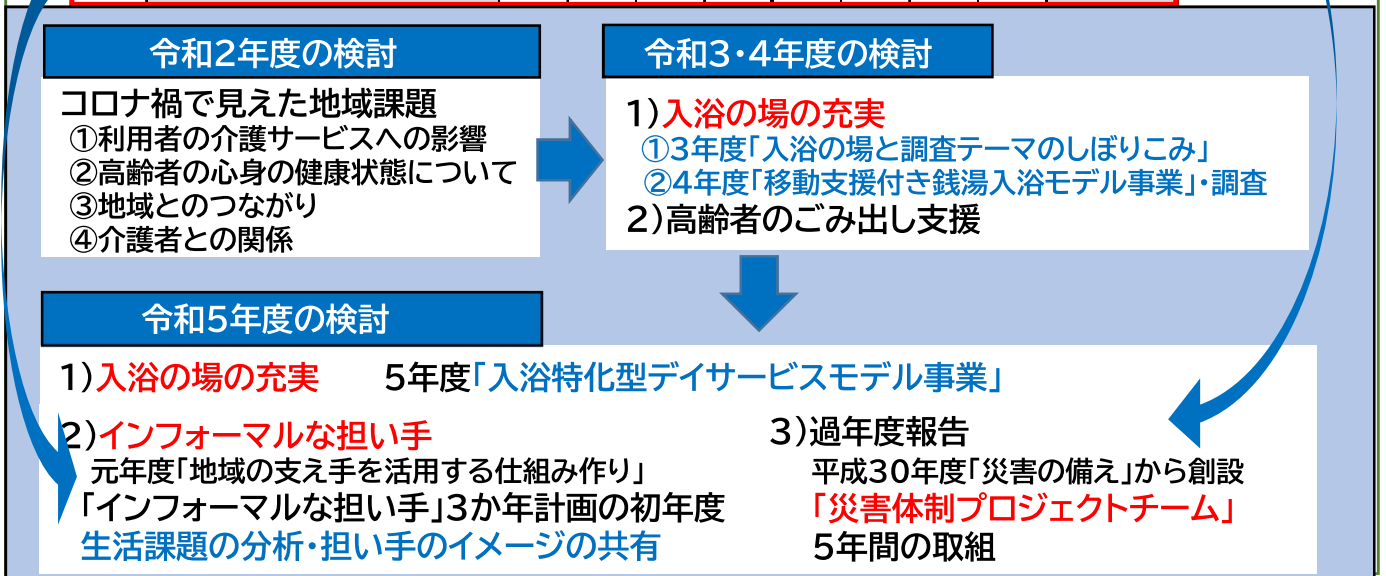


2. 平成30年度から令和5年度までの地域課題の選定 および 令和5年度「全体会議に向けた検討会」の取組について

○ 点数化した地域課題の優先性に基づき課題を選定。経年的に全体会議に向けた検討会やプロジェクトチームにて、調査やモデル事業、訓練等を行い深堀した。

豊島区における地域課題の優先順位 平成30年度

順位	地域課題	広範性と深刻性				実行可能性と効果				合計
		5	10	7	8	6	10	1	-1	
1位	災害への備え	5	10	7	8	6	10	1	-1	46
2位	認知症を地域で支える	5							0	45
3位	医療と介護連携	3	9	7	-7	2	7	7	7	35
4位	社会資源・仕組み作り	4							3	23
5位	地域の支え手	5	-1	3	2	4	-1	9	1	22



令和6年1月18日(木)15:00~17:00

ハイブリッド開催： としま区民センター 6階会議室

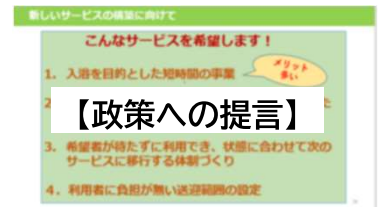
参加人数：60名 内訳：会場参加 41名(事務局含む) オンライン参加 19名

入浴の場の充実 ~入浴特化型デイサービスモデル事業~



会議参加者の意見(一部)

- 今回のモデル事業は、**高齢・障害の分野の垣根を越えた既存のサービス体系にないことに取り組もうとしたものであり、事業所として関わられて光栄である。**(障害者支援施設職員より)
- **モデル事業にて効果や課題が明らかになり、具体的な提案になっている。**例えば、この事業がきっかけで必要な支援につながる事例があり、入浴目的・短時間サービスという選択の幅が広がった。
- モデル事業を実施した南部地区・東部地区だけでなく、**西部地区でも入浴サービスが欲しい。**



入浴サービスの委託実施 (令和6年4月~)

令和6年度 新規拡充事業

入浴特化型通所サービス (入浴特化型通所事業)

シニアライフが輝くまち

要支援者の中で通所サービス事業の新たなメニューとして、入浴特化の通所サービスを委託形式で実施する。

提供頻度	定員	サービス提供(送迎)範囲
週2回	1日10名	東側圏域 (菊、東部、中央、ふくろう)

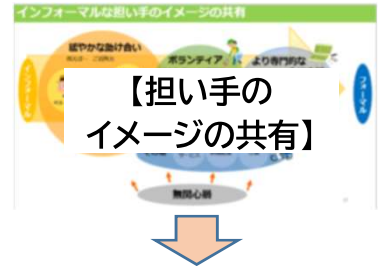
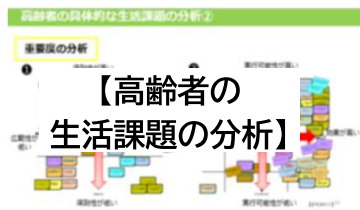
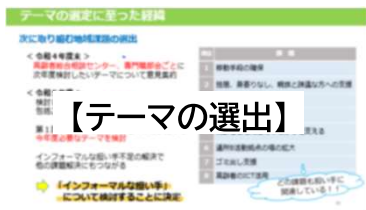


東部地域 ⇒ 介護サービス事業所が不足
 南部地域 ⇒ 銭湯が不足
 入浴資源の地域差が生じているため、概ね東側圏域をサービス提供(送迎)範囲とします。



(イメージ写真)

インフォーマルな担い手

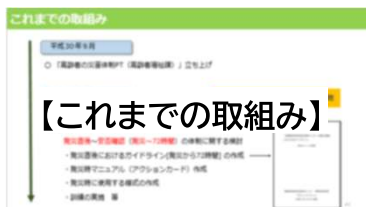


会議参加者の意見(一部)

- 施設入所等で介護を卒業された方や、既に研修を修了した方など、介護への興味や経験がある**無関係層を社会資源として捉え、アプローチを検討してみる**はどうか。
- 住民の主体性を育てるという視点が必要**。住民が活動に興味を持ち、楽しく活動できるような仕組みが今後進んでいくと良い。

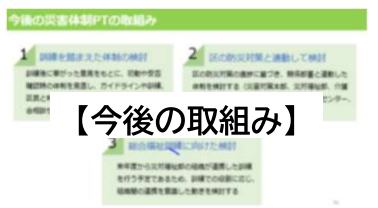
- 調査
- 課題の抽出
- モデルケースの検証

災害体制PTの取組み



会議参加者の意見(一部)

- 実際の訓練に参加したことで、**発災時の流れや区・包括・介護事業所の動きを把握することができた**。
- 訓練には多くの介護事業所が参加したが、すべての事業所が参加しているわけではない。今後も説明や研修等を行い、**事業所へ理解してもらえようような働きかけが必要**。
- 豊島区で災害が起きた際どうすればよいか考えたとき、**重要なのは地域住民や関係機関が集まって、一緒に災害対策について考え訓練していくこと**であると感じる。



- 訓練を踏まえた体制強化
- 区の防災対策との連動